

．医療対策部

現代社会の環境および意識の急激な変化に伴い、医療制度改革が推し進められている。診療報酬体系、医療保険制度などの保健医療システムが抜本的に見直され国民が質の高い医療サービスを効率的に受けられる方向性が示されている。医療費削減による医療収入減少の中で、医療の質の向上と医業経費削減と相反することに取り組まなければならない深刻な状況が続いている。また急速な少子高齢化、いまだに低迷する経済状況、保険負担率上昇・医療事故報道などによる国民意識の変化などより医療を取り巻く環境は大きく変化している。特に今後の産婦人科医療のあり方を模索するためにも国民の医療への意識の変化を把握することは必要不可欠になってきている。

以上の観点から、医療対策部では、A．医療対策とB．コ・メディカル対策の2つの部門に分けて事業を遂行した。

医療対策では、少子化や高齢社会の進行する中で、産婦人科医の果たすべき役割や産婦人科が抱える問題を明らかにし、種々の検討を行うべく、定点モニターによる調査等を中心に「産婦人科を取り巻く諸問題調査」、「病診連携における満足度調査」、「医会会員における情報技術（IT）と医療情報データベースの活用状況調査」や、また現在社会問題になりつつある「10代の出産・育児に関する調査」、「妊娠女性におけるDVの実態と産後のメンタルヘルスや育児の及ぼす影響に関する調査」等を実施し、今後産婦人科医師がこのような問題に対してどのような支援ができるかを検討した。

コ・メディカル対策では、産婦人科診療を直接的、間接的に支える産婦人科看護要員の研修による看護の質の向上を中心とした問題点を検討した。

A．医療対策

1．全国ブロック医療対策連絡会

従来の各都道府県担当者全員でなく、今回は初の試みとして各ブロックから代表者の連絡会を開催し、「新生児聴覚検査の実施状況とその問題点」、「分娩費未払い問題」、「助産師・助産所問題（嘱託医師委嘱契約書）」、「その他の要望」について各ブロックより提出事項として依頼し、各ブロックの状況について検討・討議した。

1．日 時：平成16年2月15日(日曜日) 11:00～16:00

2．場 所：日本産婦人科医会「会議室」

3．次 第：

(進行：神谷幹事)

1) 開会の辞

清 川 副会長

2) 会長挨拶

新 家 副会長

3) 医療対策委員長挨拶・委員紹介

可世木 委員長

4) 担当常務理事挨拶

佐 藤 常務理事

5) 報告事項 本部報告

佐 藤 常務理事

6) 連絡・協議

[座長：榎本、大石理事]

(1) 平成15年度産婦人科自費診療費調査結果

栗 林 幹事

(2) 助産所調査から契約医の問題

可世木 委員長

(3) 分娩取り扱い中止に伴う諸問題について

小 関 副委員長

(4) 妊産婦への家庭内暴力(DV)の実態についてのアンケート調査

片 瀬 委員

- | | |
|---|--------|
| (5) 会員への情報提供の重要性～DV防止法を中心に | 中澤 委員 |
| (6) 10代の人工妊娠中絶についてのアンケート調査結果と問題点について | 幡 委員 |
| (7) 周産期救急搬送に関する調査結果 | 角田 委員 |
| (8) 病院・診療所における情報技術(IT)と
医療情報データベースの活用状況に関するアンケート調査 | 小笠原 委員 |

追加発言：良いお産の10カ条について、
シンポジウムに参加した立場より説明 田邊 常務理事

質疑応答

関東ブロック 東先生（東京都における10代の人工妊娠中絶について）

(9) ブロックよりの事項

A. 新生児聴覚検査の実施状況とその問題点について

関東ブロック（細田先生）

北陸ブロック（鈴木先生）

中国ブロック（山崎先生）

四国ブロック（北村先生）

各ブロックの現況が報告された。各都道府県により現状は異なり、特に県が予算化しているところは、検査はほとんどの病院で可である。

今後は、耳鼻科小児科との連携がさらに必要である。

清川副会長：各ブロックにおいて新生児聴覚検査事業に関し周知徹底してほしい

樋口理事：新生児聴覚検査と医事紛争の事例について

B. 分娩費未払い問題に関して

北海道ブロック（郷久先生）

東北ブロック（今井先生、高橋先生）

東海ブロック（伏屋先生）

各ブロックの現状が報告された。未払い例は増加しており、この対策として出産育児一時金受領委任払いの利用が課題となった。

力武常務理事：(財)おぎゃー献金として、分娩費の支払いにOMCカードを利用していただきたいと考えている。カード支払いは、未払い防止対策の1つとなると思われる。

C. 助産師・助産所問題（嘱託医師委嘱契約書）について

近畿ブロック

九州ブロック

各ブロックの問題点が報告された。

可世木委員長：嘱託医師委嘱契約書(案)を提示したが、今後各ブロックからの意見をお聞きし改良していく所存。

(10) その他

消費税の対象基準について

北陸ブロック（鈴木先生） 東北ブロック（高橋先生）

平成16年4月以降改正される消費税について産科自費の取り扱いはどうなるか？

佐藤常務理事：消費税法基本通達6-8-1～3と地方諸費税法を参照していただくこと。

開業助産師への嘱託医依頼の件

中国ブロック（八木先生）
（11）閉会の辞 佐々木 副会長

2．産婦人科診療費調査の実施の検討

前回の調査表を委員会で検討し、項目を一部削除、追加等をして平成15年9月1日～末日までに行った「産婦人科診療費調査」、いわゆる自費診療費調査について実施した。その集計結果を全国ブロック医療対策連絡会で報告をした。

3．10代の出産・育児に関するアンケート調査についての検討

10代で出産した女性を対象に、妊娠・出産・育児に関してどのような問題があるかを調査し、また我々の支援のあり方について検討するために、調査を実施した。

4．産婦人科を取り巻く諸問題に関するアンケート調査についての検討

アンケート調査項目の内容を検討し、「産婦人科を取り巻く諸問題に関するアンケート調査」を実施した。

5．病診連携の満足度に対するアンケート調査についての検討

連携後の医師と患者の満足度調査するために「病診連携における満足度調査」を施設用と患者用として、別々にアンケート調査の項目・内容を検討し、調査を実施した。

6．分娩取り扱い中止後の医業に関する二次調査についての検討

今後の産婦人科医業のあり方を考える目的として「分娩取り扱い中止後の医業に関する二次調査」のアンケート調査の項目・内容を検討し、調査を実施した。

7．妊娠女性におけるDVの実態と、産後のメンタルヘルスや育児に及ぼす影響に関するアンケート調査についての検討

妊娠中のDV被害の実態およびDV被害が産後の女性のメンタルヘルスや育児へもたらす影響を明らかにするため、「妊娠女性におけるDVの実態と、産後のメンタルヘルスや育児に及ぼす影響に関するアンケート調査」のアンケート調査の項目・内容を検討し、産後1カ月健診時にアンケート調査を実施した。

8．病院・診療所における情報技術（IT）と医療情報データベースの活用状況調査の検討

医会会員でのITを利用した情報化活用について、「病院・診療所における情報技術（IT）と医療情報データベースの活用状況調査」のアンケート調査の項目・内容を検討し、調査を実施した。

9．日産婦医会定点モニター制度の維持・活用

（1）定点モニター制度を維持、継続

昭和56年（1981年）に第1次（1次任期：1期2年間）モニター制度発足から、本年度は12次目となり、従来の都道府県別区分や卒業年度別種別を再検討の上、各支部に推薦を依頼し委嘱を行った。

（2）定点モニターは医療対策部だけではなく各部で広く利用されるようになり、調査内容の重複や頻回な依頼をさけるため、今年度は情報システム部と協議・検討の上、基礎的

なデータベース（分娩の有無・分娩数・ベット数等）を作成した。

10. 医会ホームページの活用

当部における調査の結果ならびに活動状況を日産婦医会のホームページに掲載する。医会ホームページの充実により、素早く広く会員に周知する方法を検討する。

調査結果の小冊子は内部資料程度の部数のみ印刷することで経費削減を図った。

11. 日産婦医会報「医療と医業」の頁

「医療と医業」の頁の方針は、あらゆる分野で会員の医療と医業の活性化に役立つものを、統計学的手法にとらわれず幅広い視点で取り上げ、委員会で検討の上、日産婦医会報「医療と医業」の頁にて以下の情報を会員に提供した。

- 2003年 -

4月号：保健所医師から見た産婦人科医療

5月号：開設者死去に伴う手続き

6月号：周産期救急医療の病診連携に関する調査（1）

- 救急搬送の現状を送る側と受ける側で比較して -

7月号：周産期救急医療の病診連携に関する調査（2）

- IT活用に対する認識と今後への提言 -

8月号：産婦人科インターネットによるウェブアンケート調査

9月号：10代の人工妊娠中絶についてのアンケート調査

10月号：「助産婦さんへのアンケート調査結果」から

助産所に対する支援の検討と嘱託医師の問題

11月号：地方での一人医長引き上げ問題

12月号：開業女性医師および患者の意識調査のアンケート調査より

- これから開業を目指す医師へのアドバイス -

- 2004年 -

1月号：分娩取り扱い中止後に関する調査

- アンケート自由記載欄に書かれた声 -

2月号：産婦人科医と産科医の連携

~働く女性の健康支援をめざして~

3月号：医療とマーケティング

12. 委員会

以下のごとく委員会を5回開催し、その他打合会を開催した。

またメールやファックスを利用した通信会議を行った。

[第1回] 平成15年5月29日 日本産婦人科医会会議室

出席者：可世木委員長 他17名

(1) 平成15年度事業計画・タイムスケジュールについて

(2) 日産婦医会報「医療と医業」の頁について

(3) 「全国ブロック医療対策連絡会」について

(4) 「第12次定点モニター制度」発足について

[第 2 回] 平成15年 7 月 3 日 日本産婦人科医会会議室

出席者：可世木委員長 他13名

- (1) 日産婦医会報「医療と医業」の頁について
- (2) 「全国ブロック医療対策連絡会」について
- (3) 委員活動状況報告について
- (4) 「産婦人科診療費調査」について

[第 3 回] 平成15年 9 月 5 日 日本産婦人科医会会議室

出席者：可世木委員長 他12名

- (1) 日産婦医会報「医療と医業」の頁について
- (2) 「全国ブロック医療対策連絡会」のテーマについて
- (3) 委員活動状況報告について

[第 4 回] 平成16年 1 月 17 日 日本産婦人科医会会議室

出席者：可世木委員長 他16名

- (1) 平成16年度事業計画・予算(案)について
- (2) 全国ブロック医療対策連絡会について
- (3) 日産婦医会報「医療と医業」について
- (4) 委員活動状況報告について

[第 5 回] 平成16年 3 月 18 日 ダイヤモンドホテル

出席者：可世木委員長 他12名

- (1) 平成16年度の事業計画・予算(案)について
- (2) 日産婦医会報「医療と医業」の項目・執筆者について
- (3) 委員活動状況報告について
- (4) 「全国ブロック医療対策連絡会」の反省について

B. コ・メディカル対策

1. 産婦人科コ・メディカルの現況調査

現在の産婦人科コ・メディカルの状況を把握するため、全国都道府県支部に開設されている看護学校の助産学科「社会人枠」に関する調査と産婦人科看護研修学院の現況調査を実施し、コ・メディカルの有する問題点を解決するための資料とした。

2. 産婦人科コ・メディカルのあり方検討

コ・メディカル対策委員会で収集した資料や全国産婦人科看護研修学院の現況調査資料等をもとに、産婦人科医療を取り巻く社会情勢、現状の医療状況等を考慮して委員会を中心に検討を行った。

3. 全国産婦人科看護研修学院への補助金交付

コ・メディカル対策における産婦人科看護研修学院の受け持つ教育的役割は重要であり、この運営の一助として1学院7万円の補助を開校16学院に行った。

4. コ・メディカル生涯研修会（平成15年10月11日 徳島県・ホテルクレメント徳島）

産婦人科の看護に携わる人たちの医療・看護水準の維持向上を図る目的で、広く産婦人科医療に携わる人たちを対象としたコ・メディカル生涯研修会を行った。

本年度も実践的でトピック的なテーマ、タイムリーな情報等を取り入れ、第30回日本産婦人科医会学術集会生涯研修会と同日に開催した。

当日の講演をビデオ収録し、全国産婦人科看護研修学院へ教育資料として無料配付し、希望する会員に頒布した。

[講演]

(1) 「声が育てる人間関係」

司会：日本産婦人科医会徳島県支部副支部長 幸田博文

演者：元NHKアナウンサー 平瀬隆之

(2) 「STDとしてのHIV感染症」

司会：日本産婦人科医会コ・メディカル対策委員会委員長 田中正明

演者：国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

臨床研究開発部長 岡 慎一

(3) 子育て支援のための産科医と小児科医との連携事業

- 大分県ペリネイタル・ビジット事業から -

司会：日本産婦人科医会コ・メディカル対策委員会副委員長 芥川 甫

演者：日本産婦人科医会医療対策部 コ・メディカル対策委員会委員 岩永成晃

5. コ・メディカル対策特集号の発行配布

日産婦医会会員および産婦人科スタッフを対象に、コミュニケーションとタイムリーな情報等の伝達を目的として、本年度は15,500部発行配布した。

6. 永年勤続者ならびに成績優秀者表彰の実施

(1) 永年勤続者の表彰を実施

産婦人科看護研修学院卒業者の永年勤続者151名に表彰を行った。

満5年 - 52名

満10年 - 38名
満15年 - 29名
満20年 - 20名
満25年 - 8名
満30年 - 4名 (平成16年3月31日現在)

(2) 成績優秀者の表彰を実施

各産婦人科看護研修学院より1名の推薦を受け14名に表彰を行った。

7. 産婦人科看護研修学院全国標準試験の実施

これまでに出题された問題を選定作成し、平成16年2月17日(火)全国標準試験を実施した。受験者総数は165名であった。

また、研修修了証交付者数は139名であった。

8. 厚生労働省ならびに関連諸団体との連絡協議

厚生労働省医政局看護課と懇談会を開催した。

平成15年8月8日(金) 厚生労働省医政局会議室

出席者 厚生労働省看護課：岩澤課長補佐、田母神助産師係長、
医会：大村常務理事 他3名

また、関連諸団体と連絡協議を行った。

9. 委員会

委員会を以下のごとく3回開催した。

[第1回] 平成15年5月22日 日本産婦人科医会会議室

出席者：田中委員長 他13名

- (1) 平成15年度タイムスケジュール(案)に関する件
- (2) 平成15年度全国産婦人科看護研修学院の現況調査に関する件
- (3) 平成15年度コ・メディカル生涯研修会に関する件
- (4) 平成15年度コ・メディカル対策特集号に関する件
- (5) 産婦人科看護研修学院のあり方に関する件
- (6) 九州ブロックからの質疑事項への回答に関する件

[第2回] 平成15年10月11日 ホテルクレメント徳島

出席者：田中委員長 他11名

- (1) 平成15年度産婦人科看護研修学院全国標準試験に関する件
- (2) 平成15年度コ・メディカル対策特集号の編集方針に関する件
- (3) 産婦人科を取り巻く諸問題に関するアンケート調査に関する件

[第3回] 平成16年3月11日 アルカディア市ケ谷

出席者：田中委員長 他10名

- (1) 平成15年度事業報告(案)に関する件
- (2) 平成16年度事業計画案・予算(案)に関する件
- (3) 平成16年度コ・メディカル生涯研修会に関する件

平成15年度 全国産婦人科看護研修学院一覽

(平成16年3月)

No.	支 部	学 院	学 院 長	〒	所 在 地	TEL
1	北海道	函 館	藤松 光正	040-0054	函館市元町33-19	市医師会館内 0138-26-1619
2	青 森	廃 青 森	大石 孝	030-0821	青森市勝田1丁目16-16	" 017-777-1501
3	"	廃 弘 前	白取 秀世	036-8045	弘前市野田2丁目7-1	市医師会附属看護学院内 0172-33-2209
4	"	休 八 戸		031-0804	八戸市青葉2丁目17-4	八戸准看護学院内 0178-43-4946
5	宮 城	宮 城 県	永井 宏	980-8633	仙台市青葉区大手町1-5	県医師会館内 022-227-1591
6	山 形	休 山 形	金杉 浩	990-2432	山形市荒楯町1丁目8-9	" 023-631-4350
7	"	休 鶴 岡	中村 純	997-0035	鶴岡市馬場町1-34	鶴岡地区医師会館内 0235-22-6413
8	福 島	休 郡 山	村田 武司	963-8001	郡山市本町2丁目10-11	古川産婦人科内 024-922-1155
9	茨 城	休 水 戸	石渡 勇	310-0852	水戸市笠原町字上組489	県医師会館内 029-241-8446
10	"	休 土 浦		300-0054	土浦市東真鍋2-39	市医師会館内 0298-21-0849
11	栃 木	休 栃 木	上地 弘二	320-0065	宇都宮市駒生町3337-1	日産婦医会栃木県支部 028-622-2655
12	埼 玉	埼 玉	林 正	330-0062	さいたま市浦和区仲町3丁目5-1	県民健康センター内 048-824-2611
13	山 梨	休 山 梨 第 一	梶山 浩	400-0031	甲府市丸ノ内2丁目32-11	県医師会館内 055-228-8385
14	"	休 山 梨 第 二	加賀谷 武	403-0005	富士吉田市上吉田3032-1	加賀谷医院内 0555-23-2450
15	長 野	廃 長 野		381-0082	長野市若里1570-1	市医師会館内 026-226-5850
16	静 岡	休 静 岡	舟橋 守	420-8603	静岡市東草深町3-27	" 054-245-6136
17	"	休 浜 松	有沢 克夫	432-8023	浜松市鴨江2丁目11-2	" 053-452-0424
18	"	休 静 岡 県 東 部	岩端 秀久	410-0801	沼津市大手町3-2-19	(学院連絡先) 055-962-1368
19	富 山	富 山 県	家城 匡純	939-8222	富山市蜷川336	県医師会館内 076-429-4466
20	石 川	休 石 川	紺谷 昭哉	920-0912	金沢市大手町3-21	" 076-263-6755
21	岐 阜	岐 阜 県 医 師 会	岩砂 和雄	500-8510	岐阜市藪田南3丁目5-11	県医師会館内 058-274-1111
22	愛 知	名 古 屋	山口 貞雄	460-0008	名古屋市中区栄4丁目14-28	" 052-264-0301
23	"	休 豊 橋	日比 勝	440-0886	豊橋市東小田原町69-70	日比産婦人科病院内 0532-52-3336
24	"	休 岡 崎	田那村 至	444-0876	岡崎市亀美北2丁目4	市医師会館内 0564-52-1571
25	"	休 一 宮	森川 満夫	491-0037	一宮市貴船町2丁目7-16	" 0586-71-7531
26	三 重	休 四 日 市	伊藤 雄幸	510-0087	四日市市西新地14-20	市医師会館内 0593-52-9117
27	"	休 松 阪	地主 彰夫	515-0076	松阪市白粉町363	松阪地区医師会館内 0598-21-0327
28	"	休 伊 勢	池田 洋子	516-0035	伊勢市勢田町628-10	市医師会館内 0596-28-2476
29	京 都	廃 京 都 府 医 師 会		604-8585	京都市中京区壬生東高田町1 9	府医師会館内 075-312-3671
30	大 阪	休 緒 方	緒方 正世	541-0042	大阪市中央区今橋3丁目2-17	緒方ビル内 06-6231-3255
31	兵 庫	休 西 宮	江原 收	662-0911	西宮市池田町12-3	西宮市医師会看護専門学校内 0798-26-0661
32	鳥 取	休 鳥 取	大石 徹	680-8585	鳥取市戎町317	県医師会館内 0857-27-5566
33	岡 山	休 津 山	赤堀和一郎	708-0051	津山市椿高下114	津山保健センター内 0868-22-2168
34	広 島	休 広 島	芥川 甫	733-8543	広島市西区観音本町1丁目1-1	県医師会館内 082-232-7321
35	"	休 吳		737-0056	呉市朝日町15-24	市医師会館内 0823-22-2326
36	"	休 三 原	難波 幸一	723-0051	三原市宮浦1丁目5-7	医師会病院内 0848-62-2283
37	山 口	休 德 山	小金丸恒夫	745-0836	徳山市慶万町10-1	徳山看護専門学校内 0834-31-4560
38	"	休 下 関	麻上 義文	751-0831	下関市大学町2丁目1-2	下関看護専門学校内 0832-52-4451
39	徳 島	休 徳 島	寺内 弘知	770-0847	徳島市幸町3丁目61	市医師会館内 088-625-4617
40	愛 媛	休 松 山	福井 敬三	790-0014	松山市柳井町2丁目85	" 089-915-7700
41	福 岡	休 福 岡	池田 功	814-0001	福岡市早良区百道浜1-6-9	市医師会看護専門学校内 092-852-1530
42	佐 賀	休 佐 賀 市 医 師 会	横須賀 巖	849-0924	佐賀市新中町2-11	市医師会館内 0952-31-1414
43	熊 本	休 熊 本	豊田 大徳	860-0811	熊本市本荘5丁目15-18	" 096-366-3638
44	宮 崎	休 宮 崎	綾部 隆夫	880-0932	宮崎市大坪西1丁目2-3	宮崎看護専門学校内 0985-52-5118
45	"	休 都 城	中山 民男	885-0073	都城市姫城町9街区3号	市医師会館内 0986-22-0711
46	鹿 児 島	廃 鹿 児 島	柿木 成也	890-0053	鹿児島市中央町8-1	県医師会館内 099-254-8121
47	沖 縄	休 沖 縄 県 医 師 会	稲富 洋明	901-2104	浦添市字当山422	医療福祉センター内 098-877-0666

開校...16学院

休校...27学院

未設置支部...岩手県、秋田県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、滋賀県、奈良県、和歌山県、島根県、香川県、(16支部) 高知県、長崎県、大分県